

より良い研究支援を目指した 制度の見直し

～ 戦略的創造研究推進事業 ～

独立行政法人 科学技術振興機構
イノベーション推進本部

平成22年3月



戦略的創造研究推進事業

～ イノベーションに繋がる技術シーズ
の創出を目指して ～

課題解決型基礎研究ートップダウン型ー

～トップダウン型・ボトムアップ型研究事業の比較～

両制度が車の両輪として異なった側面からわが国の科学技術振興を担う

トップダウン型

科学技術振興機構

ボトムアップ型

戦略的創造研究推進事業

国の政策目標
(科学技術基本計画)

国の戦略目標提示

研究領域・研究総括の設定

国の政策目標実現のために、研究内容に応じた形で
優秀な研究者を動員して集中的に研究を推進

研究成果によるイノベーションの
技術シーズを創成

科学研究費補助金

研究活動により多彩な学術の
振興を図る

学術的に優れた
独創的・先駆的な研究に対して補助

個々の研究者の自由な発想に
基づく研究提案

2

戦略目標

政策に基づき将来の応用を目指す基礎研究(第3期科学技術基本計画)



社会的・経済的ニーズをもとに、国(文部科学省)が**戦略目標**を設定



科学技術振興機構(JST)は、戦略目標の下に
研究領域を選定、**研究総括**を指名
研究領域毎に研究を推進

□ 研究総括

研究領域の運営責任者として、戦略目標の達成に向けた**研究領域全体の運営方針決定**や**研究マネジメント**を行う。

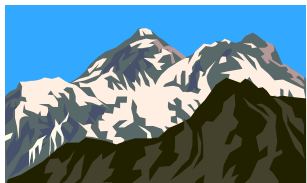
□ 研究の推進方法

■ **CREST**と**さきがけ**では、研究領域を定め、研究総括のもとで研究提案を募集し、選考し、選定された研究者が研究を推進。

■ **ERATO**では、研究総括の独自の視点から研究対象(研究領域)をもとに、研究者を結集し研究を推進。

3つのプログラム

戦略的創造研究推進事業
CREST



複数の山々がそびえ立つ八ヶ岳のように、1つの領域に強力な**研究群団**が並び立ち、国の政策実現に向け研究を推進する。
(八ヶ岳型)

さすかけ
PRESTO



牧場主であるメンターのもと、国の政策実現に向けて、挑戦的な研究者同士が交流・触発しあいつつ研究を推進し、**個々人**の独創性により技術シーズを創出する。
(牧場型)

ERATO



富士山のように、並び立つものがない独創的な研究を卓越したリーダーのもとに展開し、**新しい科学の領域を開拓する**ことで国の政策実現に資する。
(富士山型)



制度の工夫・改善

研究費の使い勝手の改善 ①

～ 弾力的かつ不正をする必要のないファンディングを目指して ～

- 複数年での契約締結、柔軟・簡便な年度間の繰越・費目間の流用、他制度との整合等

→ 簡便な繰越

- ・5%以内なら事後報告で可能

(※大学等で自主的に繰越可否を判断)

- ・5%超も内容を確認し問題なければ可能

→ 合算使用：科研費同様に可 (H20年10月より)

→ 人件費：率専従の導入 (H21年度より)

研究費の使い勝手の改善 ②

～ 弾力的かつ不正をする必要のないファンディングを目指して～

- 複数年での契約締結、柔軟・簡便な年度間の繰越・費目間の流用、他制度との整合等
 - 直接経費総額の**50%**まで流用可能(**H21年度**より)
 - ※ 50%未満でも、研究計画に大幅な変更がある場合は、研究総括の承認および研究契約書の変更が必要
 - 繰越については、年度内報告から、**次年度報告(4月末頃)**に変更(**H20年度決算**より)
- 年度当初での研究費支給
 - 研究費の**空白期間**を極力作らない

その他支援

- ライフイベント(出産・育児・介護)から研究への復帰支援
 - 年間**300万円**の**男女共同参画**促進費

- 研究終了時期を半年延長
 - 9月末から**年度末**へ
 - 切れ目ない研究、ポストドクのポスト獲得を配慮